

7月4日

ロトを助けるアブラハム
創世記14章1～24節

14:1 さて、シヌアルの王アムラフェル、エラサルの王アルヨク、エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティデアルの時代に、14:2 これらの王たちは、ソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アダマの王シヌアブ、ツェボイムの王シエムエベル、ベラの王、すなわち、ツォアルの王と戦った。14:3 このすべての王たちは連合して、シディムの谷、すなわち、今の塩の海に進んだ。14:4 彼らは十二年間ケドルラオメルに仕えていたが、十三年目にそむいた。

14:5 十四年目に、ケドルラオメルと彼にくみする王たちがやって来て、アシュテロテ・カルナイムでレファイム人を、ハムでズジム人を、シャベ・キルヤタイムでエミム人を、14:6 セイルの山地でホリ人を打ち破り、砂漠の近くのエル・パランまで進んだ。14:7 彼らは引き返して、エン・ミシュパテ、今のカデシュに至り、アマレク人のすべての村落と、ハツアツオン・タマルに住んでいるエモリ人さえも打ち破った。14:8 そこで、ソドムの王、ゴモラの王、アデマの王、ツェボイムの王、ベラの王、すなわちツォアルの王が出て行き、シディムの谷で彼らと戦う備えをした。

14:9 エラムの王ケドルラオメル、ゴイムの王ティ
デアル、シヌアルの王アムラフェル、エラサル
の王アルヨク、この四人の王と、先の五人の王と
である。14:10 シディムの谷には多くの瀝青の
穴が散在していたので、ソドムの王とゴモラ
の王は逃げたとき、その穴に落ち込み、残り
の者たちは山のほうに逃げた。14:11 そ
こで、彼らはソドムとゴモラの全財産と食糧
全部を奪って行った。14:12 彼らはまた、
アブラムのおいのロトとその財産をも奪い
去った。ロトはソドムに住んでいた。

14:13 ひとりの逃亡者が、ヘブル人アブラムのところに来て、そのことを告げた。アブラムはエモリ人マムレの櫛の木のところに住んでいた。マムレはエシュコルとアネルの兄弟で、彼らはアブラムと盟約を結んでいた。14:14 アブラムは自分の親類の者がとりこになったことを聞き、彼の家で生まれたしもべども三百十八人を召集して、ダンまで追跡した。14:15 夜になって、彼と奴隷たちは、彼らに向かって展開し、彼らを打ち破り、ダマスコの北にあるホバまで彼らを追跡した。14:16 そして、彼はすべての財産を取り戻し、また親類の者口トとその財産、それにまた、女たちや人々をも取り戻した。

14:17 こうして、アブラムがケドルラオメルと、彼といっしょにいた王たちとを打ち破って帰って後、ソドムの王は、王の谷と言われるシャベの谷まで、彼を迎えに出て来た。14:18 さて、シャレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持って来た。彼はいと高き神の祭司であった。14:19 彼はアブラムを祝福して言った。「祝福を受けよ。アブラム。天と地を造られた方、いと高き神より。14:20 あなたの手に、あなたの敵を渡されたいと高き神に、誉れあれ。」アブラムはすべての物の十分の一を彼に与えた。

14:21 ソドムの王はアブラムに言った。「人々は私に返し、財産はあなたが取ってください。」

14:22 しかし、アブラムはソドムの王に言った。「私は天と地を造られた方、いと高き神、【主】に誓う。14:23 糸一本でも、くつひも一本でも、あなたの所有物から私は何一つ取らない。それは、あなたが、『アブラムを富ませたのは私だ』と言わないためだ。14:24 ただ若者たちが食べてしまった物と、私といっしょに行った人々の分け前とは別だ。アネルとエシュコルとマムレには、彼らの分け前を取らせるように。」

アブラハムの生涯と信仰を学んでいます。
先週は牛、羊など家畜が増え、牧草地が世なくなり、ロトのしもべとアブラハムのしもべとの間に争いが起こった。

近くにカナン人、ペリジ人が住んでいる。
神様の民が兄弟親戚同士で争っているのは証
しにならない。アブラハムはロトと別れる提案。ロ
トが右に行けば左に。

左に行けば右に。ロトに選択の優先権を
差し上げた。アブラハムはこの優先権を取っ取り
合うことでもめることも

証しにならないと判断した。

選択の優先権をロトに与えた。

選択の優先権をいただいた口トは、
祈ることも祭壇を築くこともせず、
肥沃なヨルダンの低地を選択して
ベテルの地に未練なくヨルダンの低地、
ソドムゴモラの近くへ進んで行きました。

人間的には良い地を取られたアブラハムは
損をした、悔しいという思いがあったかもしれませ
んが、神様がアブラハムに語りかけています。

目をあげなさい。

地を見ないで、主を見上げなさい。

人間の判断、決断、選択に目を向けないで
神様に目を向けることを促しています。

北と南、東と西、

この地全部を見渡しなさい。

縦に横に歩きなさい、地を踏みしめなさい。

大地に親しみ、耕し、水を施し、種を蒔きなさい。
地を見つめてよいことを発見しなさい。

良いことがいっぱい埋蔵されています。

発掘発見しなさい。

ヘブロンを宿営の地として、天幕を張り、
祭壇を築いてお祈りをしました。

14章に入ると新たな問題が生じました。

シヌアルの王、アムラフェル。

エラサルの王、アルヨク。

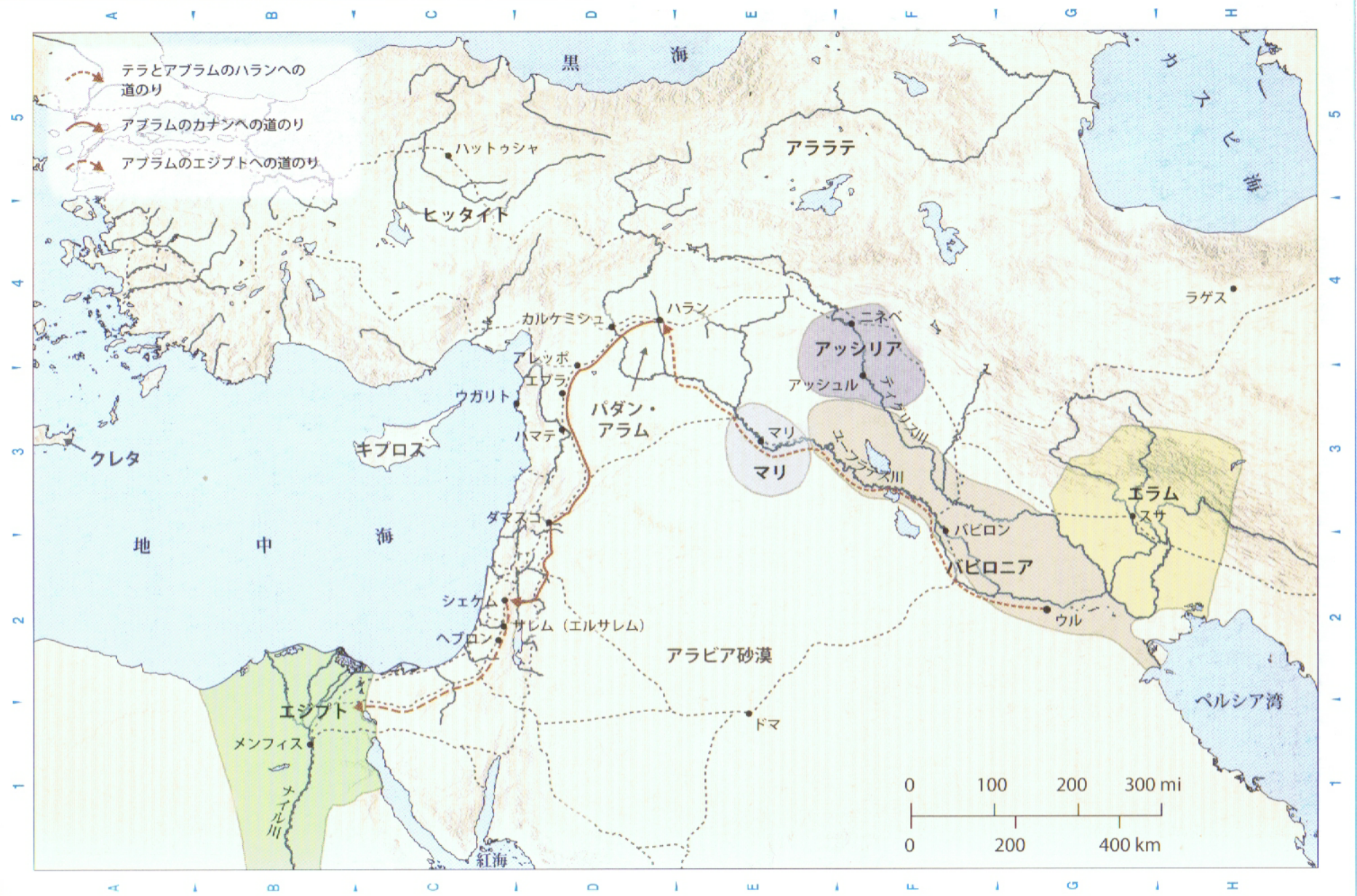
エラムの王、ケドルラオメル。

ゴイムの王ティディアル。

バビロンにある4都市国家同盟

エラムの王、ケドルラオメルが中心で強力な軍事力を持っていた。

これに対して
ソドムの王、ベラ。
ゴモラの王、ビルシャ。
アデマの王、シヌアブ。
ツエボイムの王シエムエベル。
ベラの王、(ツォアルの王)
死海近辺の5都市国家連合



- テラとアブラムのハランへの道のり
- アブラムのカナンへの道のり
- アブラムのエジプトへの道のり

ハットウシャ
ヒッタイト

アララテ

ラガス

アッシリア

アッシュル

マリ

エラム

バビロニア

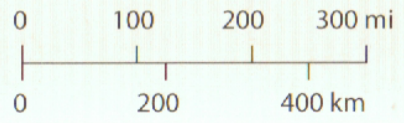
アラビア砂漠

ペルシア湾

エジプト

メンフィス

紅海



5
4
3
2
1

5
4
3
2
1

A B C D E F G H

黒海
地中海
エジプト
シエケム
ヘブロン
サレム (エルサレム)
ダマスコ
ウガリト
エブラ
アレppo
カルケミシュ
ハラン
パダン・アラム
マリ
アッシリア
アッシュル
マリ
エラム
スサ
バビロン
ウル
ドマ
アラビア砂漠
アララテ
ヒッタイト
ハットウシャ
ラガス
ペルシア湾
エジプト
メンフィス
ナイル川
紅海
クレタ
キプロス

死海近辺の5都市国家連合は
メソポタミアの強力な4都市国家同盟に
従い、貢を治めていましたが、反逆。
4都市国家同盟の激しい攻撃が5都市国家
連合に向けられました。
ソドム、ゴモラは敗北、全財産と食料が奪わ
れ、そこにいたロトの一族も財産を奪われとりこ
として引かれて行きました。

アブラハムは南の方の山地、
ヘブロンで祭壇を築き、
天幕を張って、主の名によって祈り
平和な生活をしていましたが。
そこへ一人の逃亡者からロトに関するニュースが
届けられました。

ロトの一族は食料を奪われ、とりこになって
エラムの王ケドルラオメルに
連行されていった。
この知らせはアブラハムに
衝撃を与えました。

アブラハムは親せきのロトを助けるために
家で生まれたたしもべ、318人を招集して
北の端のダンまで追跡して、
夜襲を試みて、ケドルラオメルの大軍を敗走さ
せ、
ロトとその一族を救出、奪われた財産を
ことごとく奪還しました。

勝利をして凱旋するアブラハムを
二人の王が迎えています。

ソドムの王と

シャレムの王メルキゼデクです。

ソドムの王は瀝青の穴の中に隠れていて
戦が終わるとのこのこと出てきて
アブラハムに、お礼も言わないで
人々は私に返してください。

財産はもらってください。

アブラハムは、あなたの所有物から何一つ取ら
ない、と言いました。

もう一人の王

シャレムの王メルキゼデクが、
パンとぶどう酒をもってアブラハムを
迎えています。

彼はいと高き神の祭司であった、
と書かれています。

戦の間はアブラハムのために祈っていたのでしょ
うね。

メルキゼデクに関してはヘブル書で
イエスは私たちの先駆けとしてそこに入り、永遠
にメルキゼデクの位に等しい
大祭司となりました。と書かれています。

メルキゼデク

メルクは王、ゼデクは義、義の王。
シャレムの王、シャレムはシャローム、
エルサレムの王、平和の王。

アブラハムをパンとぶどう酒をもって迎えています。
アブラハムはすべての物の10分の1をささげています。

アブラハムにキリストのひな型として
アブラハムに現れています。

ケドルラオメルの大軍がソドムを攻撃して
親類のロト一族は
財産が奪われ、
とりこになって引かれて行きました。
この知らせが来た時、
アブラハムの心に
どんなことが思い浮かんだでしょうか。

アブラハムは以前はメソポタミアに住んでいました。エラム王国のケドルラオメルキドルラオメルの軍隊の強固さは十分に知っていたはず。

ロトを奪還するのにわずか318人の家来しか持っていない。

とても勝てる数ではない。

ロトはと言えば、勝手に危険なソドムの
近くに引っ越して、この戦に巻き込まれて
しまったのだ。あのままベテルに留まって
いたらよかった。

危険なソドムに行ったから
こうなってしまった。

ロトの不信仰、自業自得。
どうして命を懸けてまでして助けてあげなければ
ならないのか。

でも口トは親せきの一員。神様を信じてともにカルデヤのウルを出て信仰の旅路を歩んできた仲間。

本当の愛に生きるべきではないのか。犠牲を払ってでも兄弟を助けるべきではないか。

未信者の人々に囲まれている。

見捨ててしまったら、自己保身に走ったら

結局みんな自己愛に生きている、自己中心に生きている。信仰も役に立たない、口先だけ、と人は思うかも。

アブラハムは日頃祭壇を築いて
祈っていました。

またこの苦しみ、葛藤の中で
アブラハムは祈りました。

祈りの中でアブラハムの
信仰の世界が広げられてきました。
本当の愛とは何か。神様の愛は何か。
与える愛、犠牲になっても、報いてくださる神様
の贖いの信仰、救い主がともにいてくださる信仰
が啓示されてきました。

アダムとエバが罪を犯したとき、
神様は皮の衣をお与えになりました。
罪の体を覆うために、羊が殺され、
犠牲となり血を流すことにより
罪がおおわれることが啓示されました。

ノアの箱舟の時

多くの木材が切り倒され、箱舟が建造され、その箱舟によって、神様の裁きから救われました。ノアが救われるために、多くの木材が切り倒され、削られ、犠牲になったことが証しされました。

アブラハムは祈りの中で
主にある兄弟、ロトを救うために
318人で出かけよう。私たちが犠牲となっても、
血を流すことがあっても、
この愛で生きて行こう。

主は必ずこの祈りに応えてくださる。

この信仰でケドルラオメルの大軍に向かって夜襲を試み、その結果エラムの大軍は奪った財産や捕虜を残してバビロンへ敗走して行きました。

この祈りの勝利、信仰の勝利を成し遂げて
捕囚となっていたロトを解放し、奪われた財産を
取り返したとき、

何と、神の祭司であるシャレムの王、
メルキゼデクがパンとぶどう酒、やがて来てくださ
るイエス様の十字架を表すパンとぶどう酒でアブ
ラハムを迎えました。

十字架の信仰の勝利、犠牲を払ってでも、
自分の力に頼らず神様に全面的に信頼する信
仰のしるしを携えきました。

アブラハムはこの戦いは主の戦い、
主が勝利を与えてくださった、
と確信して戦利品の十分の1を
イエス様を証ししている
メルキゼデクに献げました

ソドムの王にも糸一本、くつひも一本も
あなたの所有物から私は何一つ取らない。

この戦いの勝利は私の力ではなく、
神様の力であることをソドムの王に証ししていま
す。

アブラハムはヘブロンへ行ってから
祭壇を築き、主に祈り

主と交わる生活をしていました。

近隣の戦争に口トが巻き込まれ

信仰によって、犠牲を払うことも覚悟して、

助けに行き、勝利をしました。

この祈り、信仰の決断が賢明であった、正しかったというしるしをメルキゼデクからいただいています。

イエス様は私たちのために命をお与えになりました。
それによって私たちに愛が分かったのです。
愛の勝利です。

メルキゼデクのくださるパンとブドウ酒は
愛と信仰の勝利のしるしです。

私たちも聖餐式に与る時、
パンとブドウジュースをいただく時、
愛の勝利、信仰の勝利を確信して、
その信仰に生きる決意、信仰を新たにして
パンとブドウジュースに与りましょう。

祈り